

令和3年度の高齢者事業について

これまでの取組

医療機関で活用できる、より実践的なモデルや手順書といったツールが必要ではないか

R1年度: アンケート・好事例施設調査

- 100床以上の医療機関に対する実態調査
- 好事例施設の取り組み状況を調査
⇒現状の把握と課題の抽出

R2年度: スタートアップツールの作成

- ポリファーマシー対策を行う実際的なポイント
- 業務手順書のモックアップ 等
⇒R1年度の課題を解決するツールを作成

R3年度: モデル医療機関におけるツールの実運用

- R2年度に作成した業務手順書等を医療機関で運用し、その実用性と課題を確認する
- 実施機関は公募により数機関を採択
- モデル医療機関での取組結果の学会発表などを通じて、ツールの周知も図る

<スケジュール>

	R2年度	R3年度	R4年度
検討会	第13回	第14回 中間報告	第15回 結果をとりまとめて報告
医療機関での効果検証		ツールを運用し、その実用性・課題を確認	